様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 570102	勤労青少年ホーム施設管理事業	主管課名	生涯学習課
この事務事業の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		
	施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち	課長名	藤本修身
	基本事業	生涯学習講座の充実		

(1)事業の概要

・勤労青少年ホーム全体の施設維持管理費。

・集会室、和室、実習室、娯楽室、軽運動室、事務室等の施設維持管理費。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	勤労青少年ホーム開設日数	日
②	保守点検委託数	件
③	年間修理金額	円

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	臨時的非常勤職員2人が勤労青少年ホームに勤務し、申請の受付から施設の貸し出し、利用者への案内、施設の日常清掃や蛍光灯の交換等の簡易な修繕を実施。また、業務委託等の立会いも実施。
26年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①勤労青少年ホーム

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	勤労青少年ホーム施設面積	㎡
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①勤労青少年ホームを快適･安全に利用してもらう

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	年間利用者数	人
②	利用団体	団体
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

①学習意欲を持ち講座に参加してもらう

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	生涯学習講座受講者	人
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	日	296	298	297	296		
	②	件	3	3	3	3		
	③	円	532,350	64,942	610,000	4,210,000		
(6)の対象指標	①	㎡	747	747	747	747		
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	人	6,204	7,339	7,300	7,300		
	②	団体	40	45	45	45		
	③							
(8)の結果の成果指標	①	人	5,710	5,010	5,656	5,735		
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	05	項	01	目	02

(11)コスト

		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	4,953	1,984	2,487	2,487	0	0
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	362	442	259	259	0	0
	一般財源	千円	4,591	1,542	2,228	2,228	0	0
人件費B		千円	5,601	5,541	5,541	5,541	0	0
	正職員従事時間×人数	時間×人	213 × 4	213 × 4	213 × 4	213 × 4	×	×
	正職員以外の人件費	千円	2,391	2,382	2,382	2,382		
その他費用C		千円	14	12	12	12		
トータルコストA+B+C		千円	10,568	7,537	8,040	8,040	0	0
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ ㎡	14	10	11	11		
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	570102	勤労青少年ホーム施設管理事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

昭和44年4月　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

勤労青少年ホーム開館により開始した

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

□変化していない
■変化している → 変化した内容：施設の老朽化で修繕費がかかる

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

・平成18年度に行った耐震診断では「勤労青少年ホームは補強工事の必要なし」という結果がでた。しかし、施設自体は老朽化しており、雨漏りや水道の漏水などの修繕と、軽運動室に空調設備が無いなど追加の設備工事が必要なことが課題。

3 評価（SEE）

目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	みよし市立勤労青少年ホーム設置条例
			この事務を行う根拠又は理由	勤労青少年の健全な育成と福祉の増進に寄与する。
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	軽運動室の利用の増加により利用者が増加したが、軽運動室の空きが無いため、これ以上の利用者を増加させることは難しい。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	№570208 ふれあい交流館事業
			類似事業との再編の可能性	■ある → 内容：平成28年度に複合施設に機能移転し、施設や管理を一元化する □ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	■ある → ■現状で適正 □ない → □検討が必要 □受益者がいない	内容	

4 改革改善案（PLAN）

(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	□現状維持	□縮小	■統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持

(2)改革・改善案
※対象、意図、手段等の見直しなど

・平成28年度に図書館を含む複合施設に機能移転の予定。
・複合施設建設後の施設利用を検討する必要がある。
・補助金（昭和44年度に10,000,000円）返還不要。
（H20厚生労働省所管一般会計補助金に係る財政処分について）
・用地は、独立行政法人水資源機構から無償借地。